



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月30日  
上場取引所 東

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社  
コード番号 9110 URL <https://www.nsuship.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山中 一馬  
問合せ先責任者 (役職名) 経理グループマネジャー (氏名) 曾根 博一 TEL 03-6895-6400  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	171,264	△9.6	15,073	△10.6	14,656	△13.4	18,153	24.5
2025年3月期第3四半期	189,391	9.8	16,862	△2.1	16,933	△3.1	14,582	3.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 22,099百万円 (39.6%) 2025年3月期第3四半期 15,835百万円 (10.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	770.32	—
2025年3月期第3四半期	618.78	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	296,098	179,417	60.6
2025年3月期	287,948	162,738	56.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 179,417百万円 2025年3月期 162,738百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	115.00	—	125.00	240.00
2026年3月期	—	105.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	160.00	265.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	224,000	△9.5	18,900	△6.5	17,100	△10.1	20,800	11.7	882.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	23,970,679株	2025年3月期	23,970,679株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	405,119株	2025年3月期	405,034株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	23,565,607株	2025年3月期3Q	23,565,722株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、本日付けで「2026年3月期 業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しておりますので併せてご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、2026年1月30日（金）に当社ウェブサイトに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	増減額 (増減率)
売上高	189,391	171,264	△18,127 (△9.6%)
営業利益	16,862	15,073	△1,790 (△10.6%)
経常利益	16,933	14,656	△2,277 (△13.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14,582	18,153	3,571 (24.5%)

  

為替レート(円/US\$) (9ヶ月平均)	152.11	148.33	△3.78 (△2.5%)
燃料油価格※(US\$/MT) (9ヶ月平均)	574	493	△81 (△14.1%)

※全油種平均

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日から2025年12月31日までの9ヶ月間)の売上高は1,712億64百万円(前年同期比181億27百万円減)、営業利益は150億73百万円(前年同期比17億90百万円減)、経常利益は146億56百万円(前年同期比22億77百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は181億53百万円(前年同期比35億71百万円増)となりました。

当第3四半期連結累計期間の外航海運事業において、ドライバルクにつきましては、世界全体の海上荷動きは堅調に推移しました。ケーブ型撒積船(18万重量トン型)市況につきましては、鉄鉱石およびボーキサイトの出荷が想定を上回ったことに加えて、同船型では新造船の供給増が抑制されていることが需給の引き締め要因となったほか、昨年11月に稼働を開始したギニア・シマンドゥ鉱山からの鉄鉱石出荷拡大への期待感と相まって、他船型に比べ底堅い推移となりました。パナマックス型以下の中小型撒積船(2～8万重量トン型)につきましては、南米・北米からの穀物輸送が期中を通じて堅調に推移し、需給の下支えとなりましたが、新造船の竣工が相対的に多く、船腹供給圧力が意識される局面もあり、市況は総じて上値の重い推移となりました。

このような状況下、為替レートが前年同期比円高で推移したこともあり経常利益段階では減収減益となりましたが、船隊整備の一環として売却した老齢船の売船益を特別利益に計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

内航海運事業において、ドライバルクにつきましては、鋼材輸送量は、建設業・製造業ともに一部回復傾向が見られ、気象・海象も比較的良好であったことから、前年同期比微増となりました。一方鉄鋼原料につきましては、引き続き国内製鉄所の生産調整などの影響により副原料使用量が減少し、前年同期比減となりました。バイオマス関連貨物は前年同期並みとなりました。セメント関連貨物は内需の低迷及び天候不順の影響を受け、輸送量は前年同期を下回りました。一方、電力関連貨物につきましては、電力需要増を背景に輸送量は前年同期を上回りました。タンカーにつきましては、LNG輸送・LPG輸送ともに効率運航に努め、LNG輸送は工業用LNG需要増により輸送量は増加したものの、LPG輸送は傭船を1隻返船したことや暖冬による国内需要減退による影響により輸送量は減少しました。

このような状況下、効率運航に努めたこともあり、内航海運事業の業績は前年同期比で増収増益となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は約9割、内航海運事業の割合は約1割となっております。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,960億98百万円となり、前連結会計年度末比81億49百万円の増加となりました。このうち流動資産は主として現金及び預金の増加により、161億22百万円増加しました。固定資産は主として船舶の減少により、79億73百万円減少しました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、85億30百万円減少の1,166億80百万円となりました。流動負債は主として短期借入金の増加により、79億87百万円増加しました。固定負債は主として長期借入金の減少により、165億17百万円減少しました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金支払の差引による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ166億79百万円増加し1,794億17百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通期			
	前回予想	今回予想	前回予想比	
			増減額	増減率
売上高	212,000	224,000	12,000	5.7%
営業利益	18,500	18,900	400	2.2%
経常利益	16,500	17,100	600	3.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	18,900	20,800	1,900	10.1%

前回予想（2025年10月31日）及び今回予想における第4四半期の対米ドル円換算率及び燃料油価格の前提は以下の通りです。

第4四半期前提	前回予想	今回予想
対米ドル円換算率	US\$=145.00円	US\$=155.00円 ※1
燃料油価格 ※2	US\$468/MT	US\$410/MT

※1 2026年3月末の対米ドル円換算率はUS\$=150.00円を想定

※2 全油種平均

第4四半期のドライバルク市況につきましては、中国の旧正月前の荷動き一服や南米の雨季による鉄鉱石・穀物出荷の停滞といった季節要因の影響から、足元では調整局面が継続しております。一方で、直近は一部航路で持ち直しの動きも見られます。船型別には、大型船で需給調整の影響が相対的に大きい一方、中小型船では底堅い動きも見受けられます。今後につきましては、昨年稼働を開始したギニアのシマンドゥ鉱山からの鉄鉱石出荷の拡大が、中長期的に鉄鉱石輸送需要の下支えとなることが期待されます。また、各国の政策動向や地政学的リスク等が海運市況や海上輸送需要に与える影響については、引き続き注視してまいります。

第3四半期連結累計期間の業績、及び第4四半期の当社を取り巻く事業環境を踏まえ、2025年10月31日付けで公表した2026年3月期通期の連結業績予想を上述の通り変更致します。第4四半期の前提条件につきましては、対米ドル円換算率を155.00円、燃料油価格は平均消費価格(全油種)をトン当たり410ドルと予想しております。

なお、当社は株主への利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、将来における安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保資金を確保しつつ、連結業績に対する配当性向は30%を基準として、経営成績に応じた株主各位への利益還元を継続的に行うことを基本方針としております。2026年3月期の期末配当につきましては、前回予想から20円増額し、1株当たり160円、中間配当と合わせた年間配当金を1株当たり265円と予想しております。

本日、別途「2026年3月期 業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を開示しておりますので併せてご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,793	49,063
受取手形、営業未収金及び契約資産	35,155	33,166
有価証券	14,991	17,974
棚卸資産	13,775	11,744
前払費用	5,988	7,204
その他流動資産	5,481	13,158
貸倒引当金	△11	△15
流動資産合計	116,172	132,294
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	145,085	135,342
建物（純額）	57	400
土地	2	2
建設仮勘定	13,535	15,612
その他有形固定資産（純額）	280	350
有形固定資産合計	158,959	151,706
無形固定資産	1,562	1,481
投資その他の資産		
投資有価証券	5,506	6,289
長期貸付金	8	6
繰延税金資産	3,363	1,974
退職給付に係る資産	1,429	1,470
その他長期資産	950	878
投資その他の資産合計	11,257	10,617
固定資産合計	171,777	163,804
資産合計	287,948	296,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	14,091	14,451
短期借入金	14,579	22,557
未払金	133	543
未払費用	240	403
未払法人税等	1,180	546
契約負債	5,466	6,247
賞与引当金	797	158
役員賞与引当金	92	35
その他流動負債	8,242	7,866
流動負債合計	44,820	52,807
固定負債		
長期借入金	70,737	53,018
繰延税金負債	1,561	3,383
特別修繕引当金	7,900	7,041
退職給付に係る負債	192	216
その他固定負債	—	216
固定負債合計	80,390	63,874
負債合計	125,210	116,680
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	17,181	17,181
利益剰余金	133,527	146,260
自己株式	△999	△999
株主資本合計	160,009	172,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,217	2,654
繰延ヘッジ損益	927	4,523
為替換算調整勘定	△136	△245
退職給付に係る調整累計額	△279	△256
その他の包括利益累計額合計	2,729	6,676
純資産合計	162,738	179,417
負債純資産合計	287,948	296,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	189,391	171,264
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	166,819	149,896
売上総利益	22,572	21,368
一般管理費	5,710	6,295
営業利益	16,862	15,073
営業外収益		
受取利息	20	120
受取配当金	225	198
持分法による投資利益	24	26
為替差益	967	840
その他営業外収益	281	91
営業外収益合計	1,516	1,275
営業外費用		
支払利息	1,295	1,046
デリバティブ損失	102	610
その他営業外費用	49	36
営業外費用合計	1,445	1,692
経常利益	16,933	14,656
特別利益		
固定資産売却益	640	7,035
投資有価証券売却益	187	—
特別利益合計	827	7,035
税金等調整前四半期純利益	17,760	21,691
法人税等	3,178	3,538
四半期純利益	14,582	18,153
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,582	18,153



(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	14,582	18,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△345	437
繰延ヘッジ損益	1,692	3,596
為替換算調整勘定	△101	△85
退職給付に係る調整額	△5	23
持分法適用会社に対する持分相当額	12	△25
その他の包括利益合計	1,253	3,946
四半期包括利益	15,835	22,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,835	22,099

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	13,680百万円	12,300百万円

(セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運 事業	内航海運 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	166,096	23,295	189,391	—	189,391	—	189,391
外部顧客への売上高	166,096	23,295	189,391	—	189,391	—	189,391
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	4	4	294	298	△298	—
計	166,096	23,299	189,395	294	189,689	△298	189,391
セグメント利益又は損失(△)	14,171	2,703	16,874	△17	16,857	5	16,862

(注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運 事業	内航海運 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	146,888	24,376	171,264	—	171,264	—	171,264
外部顧客への売上高	146,888	24,376	171,264	—	171,264	—	171,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	1	342	344	△344	—
計	146,888	24,377	171,266	342	171,608	△344	171,264
セグメント利益又は損失(△)	11,484	3,609	15,093	△27	15,066	7	15,073

(注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額7百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。